

かがやき通信

2011

vol.01

創刊号

彦根市立病院は今年で創立120周年を迎えました



住みなれた地域で健康をささえ
安心とぬくもりのある病院

CONTENTS

「かがやき通信」の発刊にあたって	2
院内楽楽(たのらく)通信	3
看護部だより「スマイル」	5
知って得する病気の話—肺がんについて—	6
くる人 ゆく人	8
院内探検隊—小児科—	10
院内探検隊—循環器科—	12
ようこそ栄養科へ	13
ご意見番より	14
がん相談支援センターからのお知らせ	15
きらきらコメディカル—放射線科—	15
医療社会部だより	16
これであなたも10歳若返る!?—転倒予防体操—	18
緩和ケアかわら版	19
未来看護塾	19
診療予定表	20

- 1 湖東保健医療圏の総合的医療センターとして高度な医療を提供する。
- 2 安全性、信頼性の高い良質な医療を提供する。
- 3 患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を提供する。
- 4 地域の病院・診療所と役割を分担し、保健・福祉分野を含めて連携協力する。
- 5 教育・研修機能をもつ地域に開かれた病院をめざす。



「かがやき通信」

の発刊にあたって

院長

赤松 信

このたび、病院の広報誌を一新いたしました。これまで、般向け「虹のかげはし」と医療機関向け「病院だより」、「地域医療連携室だより」、「緩和ケアかわら版」がありました。これらを一にまとめ、一般の方にも、医療機関の皆さんにも楽しく、有意義な情報を提供する広報誌をつくりました。

今年は、国民皆保険がスタートして50年の節目ですが、この10年を見ても医療の中味と提供体制は大きく変化しています。とくに、高齢化が著しくすすみ、従来の病院という枠組みではすべての医療需要に対応することが困難になってきました。救急医療、リハビリ医療、慢性期・療養期医療、終末期医療など、さまざまなステージにあわせて、効率的に医療を提供する体制の整備が急がれています。このたび出された政府の「社会保障改革案」でも、そのことが強調されています。キーワードは「機能分化と連携」です。

病院と診療所との連携はもちろん病院と病院の連携、在宅医療のための連携、看護・リハビリ・介護などの連携が、二層必要な時代となりました。

本院では、彦根市・湖東地域の救急・急性期医療を中心に担うことを最大の使命としています。同時に、他の3病院、約90ヶ所の診療所、介護施設、在宅医療などとの連携を強化しています。昨年からスタートした地域連携バスは、脳卒中、大腿骨骨折などでは、連携をすすめる上で大きな力になっており、がんや糖尿病などでも今後活用していく予定です。この地域も全体として医師不足、看護師不足が依然として改善されないため、地域医療の維持・確保が十分であるとは言えません。そのような状況の中で、医療という限りある資源の有効かつ効果的な利用について、地域をあげて知恵をしぼる、アイデアを出す、ということが必要ではないでしょうか。このことを皆さんと一緒に考えたいと思っています。

また、本院は、多くの特徴ある優れた医療を行っています。この広報誌を利用して、これから一つひとつ紹介していきたいと思っています。医師や看護師などの医療従事者の顔の見えるような情報発信も心がけていくつもりです。皆様のご意見をお寄せください。

院内楽楽通信

たのらく

彦根市立病院ふれあいまつりを開催しました

開催趣旨

彦根市立病院は滋賀県の湖東医療圏の中核病院として、地域住民のみなさまの信頼と期待に応えられるよう、職員一同努力を積み重ねているところです。しかしながら、全国的な医師不足・看護師不足の状況は本院も同様で、医師による分娩の休止や一部病棟が閉鎖の状況にあり、また紹介状や予約が必要な診療科もあります。



近江高校吹奏楽部



模擬店の様子

そのような中で、平成21年度から地域の皆様に医療情報を提供する「こころと体の放送室」のラジオ放送、医療従事者による「健康講座」を開始し、本院のことを知っていただくための広報に努めています。また、昨年5月には、多くの地域住民の皆さんに市立病院のことを正しく理解していただき、ご自分の健康や地域の医療について考えていただくため、第1回彦根市立病院ふれあいまつりを開催しました。

開催報告

平成23年5月28日(土)に「第2回彦根市立病院ふれあいまつり」届けよう！こころをつなぐにじのかげはしく」を開催しました。当日は、曇り空で雨が心配されるなかでの開催となりました。催し物の数や内容は、第1回よりさらに充実したイベントとなりました。今回は、新たにオーブンクセレモニーとしてYOSAKOIソーラン舞踊を「夢宇舞ー赤鬼ー」に演舞していただきました。来場者からは、まつりの始まりにふさわしいと好評でした。



夢宇舞ー赤鬼ー



シンポジウム「地域医療を考える」

今回は、新たに「地域医療を考える」というテーマで、市民の代表、循環器科日村副院長、健康推進課職員、松木診療所の松木院長をパネリストに迎えシンポジウムを開催しました。



また、各種測定・体験コーナーでは、悪天候をよそに開催時間前から整理券を求めて並ばれ、主催者としてはうれしい悲鳴となりました。

今回は昨年の課題を踏まえ、開催時間を区切って、整理券を一人2枚までの配布として、より多くの方に参加していただけるよう工夫をしました。その結果、来場された皆さんに測定・体験コーナーを楽しんでいただけたのではないかと思います。



口腔機能チェック



手洗いチェック



顕微鏡体験



外科体験

終わった後には、「またやってみたい」「将来は、薬を作る仕事をしたい」「本物の薬を作れたかった」という声があり、有意義な時間を過ごしてもらえたようです。

また、事前申し込みが必要なコーナーも人気で、実際の器具と豚肉を使って縫合する外科体験や、親子で体験する薬剤師体験では、制服を着用し、チヨコレートなどのお菓子をを使って調剤から包装までの過程を体験するなど、子ども達に普段の生活ではできない経験をしてもらいました。

さらに今回は、滋賀県立大学の未来看護学生による輪投げや、バルンアートなどちびっ子向けのコーナーの出展もあり、職員からの出展だけではなく、外部団体からも出展していただきました。



ちびっ子ひろば(滋賀県立大学生)



未来のナース誕生

また、企業による医療機器展示も行われました。来場者には、病院で働く職員のパネル展示などもご覧いただき、彦根市立病院が頑張っている姿を感じ取っていただけたのではないのでしょうか。これからも、地域住民の皆さまに親しまれ、安心とぬくもりのある病院を目指して取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



パネル展示

看護部だより 「スマイル」

彦根市立病院は、「住みなれた地域で健康をささえ、安心とめくもりのある病院」を基本理念とし、滋賀県湖東保健医療圏の急性期医療を担っています。



看護部長
古川 純子

私たち看護部では、「3つのH」を大切に
質の高い看護サービスの提供をめざしています。

- **HEART**
患者さんやその家族を大切に思いやる心
- **HEAD**
専門的な知識と判断から導かれた気づき
- **HAND**
経験により熟練された確かな看護技術



本院の教育体制は、新人看護師を育てることと、中堅者の自主的な教育活動を支援することに重点をおいています。今年も4月から、新人看護師が仲間入りし、指導を受けながら毎日看護業務に励んでいます。学生時代に身につけた能力と、職場で求められる能力のギャップの大きさに、毎年新人看護師は戸惑い不安を抱えています。



一方、平成21年7月の保健師助産師看護師法及び看護師などの人材確保の促進に関する法律の改正により、平成22年4月1日から新たに従事する看護職員の臨床研修などが努力義務化となりました。本院でも、4月から5月に実施している看護技術研修に加え、ICU・手術センター・救急センターへのローテーション研修の導入や、新たに設定した到達目標に従って、評価基準を整えました。

「看護は、人間の生命に深くかわる職業であり、患者の生命・人格及び人権を尊重することを基本とすることから、新人看護職員研修は重要な意義を有し、全職員で育てるという組織文化が必要」と厚生労働省は、新人看護職員研修ガイドラインの中で述べています。



また、プリセプターによるマンツーマンの指導体制から、職場での新人教育担当者として、看護科長補佐がサポートするという複数での指導体制に変更しています。

さらに、看護教員資格を持ち、臨床と教員経験のある新人研修責任者が中心となり新人看護師に関わることで、職場適応のサポートや精神的サポートがより充実しています。幸いにも、本院での新人看護師離職率は、過去4年間ゼロという実績であり、これからも新人看護師の成長を見守りながら、地域のみなさんに安全で安心な医療が提供できるよう努力いたしますので、温かいご支援のほどよろしくお願いいたします。

☆知って得する病気の話

肺がんについて

肺がんは肺から発生するがんの総称です。

肺がんはその性格、悪性度、今後の見込みを考え、さらに治療法を決定するためにいくつかの分類があります。

「肺がんの分類」

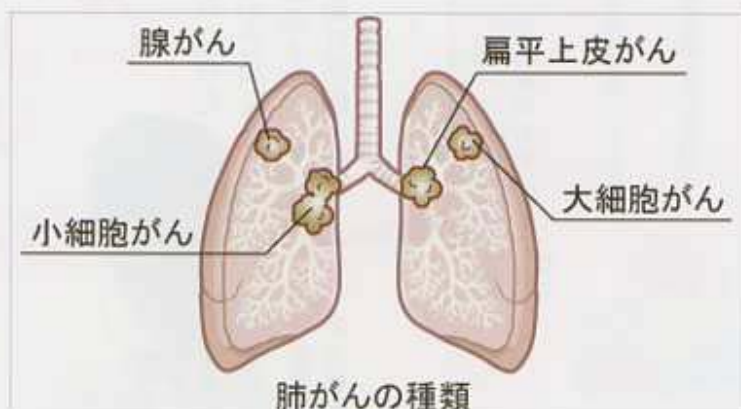
肺がんは、がん細胞の形態から大きく分けると、小細胞肺がん、非小細胞肺がんに分けられます。

小細胞肺がん

比較的少ないですが、進行が早いので発見時にはすでに転移をしてリンパ節や全身に広がっていることが多いです。抗がん剤や放射線治療に対して比較的よく効きます。

非小細胞肺がん

肺がんの多くを占めております。早い時期に発見して手術をすれば、治癒する可能性があります。抗がん剤や放射線治療に対して効きが良くありません。非小細胞肺がんは、さらに腺がん、扁平上皮がん、大細胞がんに分類されています。



「肺がんの症状」

肺がんはあまり症状が出現しません。そのために早い時期に発見するのが難しい病気です。症状としては、咳(せき)や血痰(けつたん)、胸の痛みなどがあります。健康診断や病院で撮ったレントゲンで偶然に発見される場合が多く見られます。



咳・たん



血たん



胸の痛み

「肺がんの検査」

胸部レントゲン検査

肺の異常をみるのに適しています。但し、肺の根元に病変があるときや、小さな病変では指摘するのが難しいです。



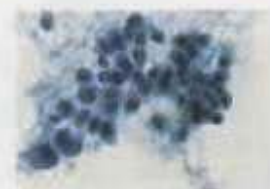
胸部CT検査

これは病気の場所や形や広がりを見るのに役に立ちます。しかし、胸部レントゲン検査やCT検査では肺がんを疑うことはできませんが、確実に診断することはできません。



痰(たん)

痰にあるがん細胞を顕微鏡で調べる検査です。これで見断できるのは一部の肺がんです。



喀痰細胞診

気管支鏡検査

肺の内視鏡検査です。喉(のど)や気管の中に麻酔(痛み止め)のスプレーをして行います。肺の内部を観察して、病変を取ることもできます。



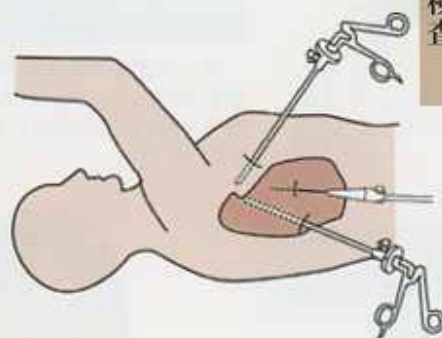
経皮的肺針生検

CT検査や超音波検査を行って、病変を直接見ながら肺に外から針を刺す検査です。局所麻酔が必要です。検査で肺から空気が漏れる可能性があるため、通常入院して検査を行います。



胸腔鏡(手術)検査

全身麻酔が必要です。胸腔鏡検査は胸に小さな穴をあけて行う内視鏡手術で、通常の手術よりも痛みや傷が小さくおすすめです。



転移の検査

肺がんと診断されたら、がん転移の有無を調べるために、脳や肝臓や骨の検査をします。方法はCT検査、骨シンチ検査などを使用します。

「肺がんの治療」

肺がんの進行度や年齢、体力に応じて治療方針を決めます。

非小細胞肺がんと確定したら

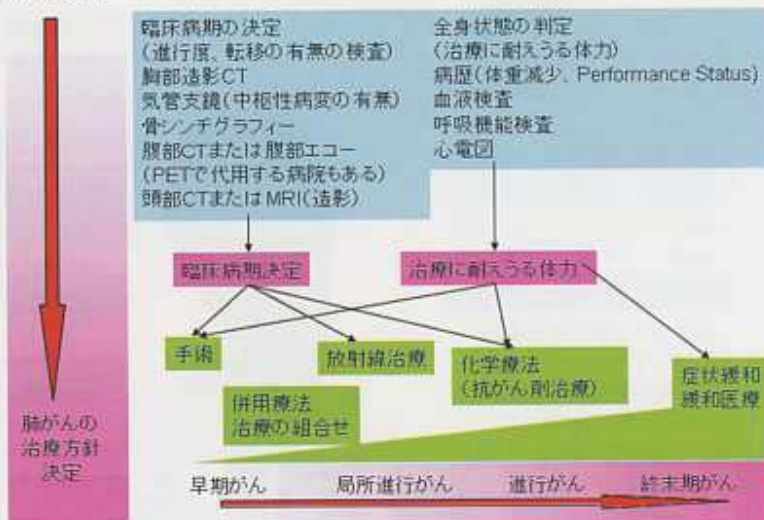
肺がん診断

外科治療

非小細胞肺がんの場合は、早期に診断された場合、外科的切除により高率に治ります。最近では負担が軽い胸腔鏡(内視鏡)による手術も行われています。

放射線治療、化学療法(抗がん剤)

遠くの臓器への転移やリンパ節転移のある進行したがんでは、放射線照射や抗がん剤の投与で、症状の改善と、ある程度の延命効果が期待できます。



くる人、ゆく人

この度、彦根市立病院に赴任いたしました。
どうぞ宜しくお願いいたします。



外科 部長
李 正煜 (H1年卒)
◇趣味: 読書
◇最近嬉しかった事: 娘の成長
◇座右の銘: 七転八起

彦根という歴史ある街で働けることをうれしく思っております。病院も立派で職員の方々もよい方ばかりとすれば、うれしさも倍増であります。病診連携のもと、微力ではありますが、地道にやっていきたいと存じます。



整形外科 医長
福田 章二 (H12年卒)
◇趣味: サイクリング・旅行
◇最近嬉しかった事: 健康診断でドキドキしなかったこと
◇座右の銘: 切磋琢磨

これまで“せばねの手術治療”を中心に行ってまいりましたが、もちろん整形外科全般の診察手術も行います。彦根市、湖東地域の皆さまの整形外科医療に貢献できますよう励んでまいります。



脳神経外科 医長
丸茂 岳 (H15年卒)

- ◇趣味: 買い物
- ◇最近嬉しかった事: 専門医試験合格
- ◇座右の銘: for the patient

緊急性の高い病気には迅速な処置を、慎重な診断が必要とされる病気には丁寧な診察とわかりやすい説明を心がけております。



外科 医員
小松原 隆司 (H18年卒)

- ◇趣味: テニス
- ◇最近嬉しかった事: テニスでの骨折が治ったこと
- ◇座右の銘: 一心精進

神戸大学を卒業後神戸で勤務してきました。よりよい医療を提供できるよう努力していきたいと思っております。



皮膚科 医員
本田 真一郎 (H18年卒)

- ◇趣味: 古時計収集
- ◇最近嬉しかった事: 神戸で良い時計を入手したこと
- ◇座右の銘: 温故知新

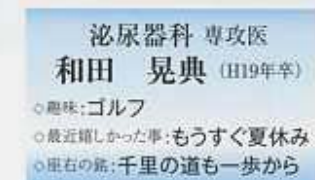
これまでは滋賀医科大学付属病院皮膚科で働いてきました。今後は地域に貢献できるように頑張っていきます。



歯科口腔外科 医員
河岡 有美 (H18年卒)

- ◇趣味: インテリア(特に椅子)、マイペースな運動
- ◇最近嬉しかった事: 身長が伸びていたこと
- ◇座右の銘: 融通無碍

滋賀県での勤務は初めてですが、これまでの経験を生かし地域に貢献できるようより一層努力していきたいと考えております。



泌尿器科 専攻医
和田 見典 (H19年卒)

- ◇趣味: ゴルフ
- ◇最近嬉しかった事: もうすぐ夏休み
- ◇座右の銘: 千里の道も一歩から

滋賀医大、草津総合病院で勤務して参りました。これまでの経験を生かし、地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。



麻酔科 医員
藤井 雅士 (H18年卒)

- ◇趣味: バドミントン
- ◇最近嬉しかった事: 息子の成長
- ◇座右の銘: 一日一善

もともと滋賀県出身ですが、彦根で勤務するのは初めてであり、この歴史ある土地で勤務できることをうれしく思います。



内科 専攻医
浅野 侑 (H20年卒)

- ◇趣味:散歩
- ◇最近嬉しかった事:なでしこジャパン
- ◇座右の銘:流れに身をまかせ、泰然自若

出身は群馬、大学は北海道で、医師としてのスタートは滋賀県です。若輩者ではありますが、地域に根ざした医療を行っていかれると思っています。



呼吸器科 専攻医
重森 度 (H20年卒)

- ◇趣味:舞台鑑賞
- ◇最近嬉しかった事:駒形どじょうが美味しかった
- ◇座右の銘:一日一善

H20年に川崎医科大学を卒業し、滋賀医科大学付属病院で研修後、同病院の呼吸循環器内科へ入局しました。本年4月から初の市中病院勤めになります。まだまだ微力ではございますが、よろしくお願い申し上げます。



形成外科 専攻医
木村 幸志伊 (H21年卒)

- ◇趣味:筋トレ、サーフィン、スノボ
- ◇最近嬉しかった事:特になし
- ◇座右の銘:一意専心



これまでは、関西医科大学付属病院にて研修をしており、この4月より入局と同時に彦根に赴任してきました。若輩者ではございますが、地域に貢献できるよう精一杯頑張ります。

整形外科 専攻医
仙石 昌也 (H20年卒)

- ◇趣味:ドライブ
- ◇最近嬉しかった事:車を買ったこと
- ◇座右の銘:人間万事塞翁が馬

整形外科医としてまだ駆け出しですが、ここ彦根で一日でも早く一人前になれるよう、がんばっていきます。



臨床研修医
許 櫻華 (H22年卒)

- ◇趣味:チェロ、乗馬、音楽鑑賞
- ◇最近嬉しかった事:誕生日を迎えたこと
- ◇座右の銘:医王菩薩

昨年は京大病院で研修しておりました。歴史ある彦根市立病院で研修したことを誇れるように、一年間がんばりたいと思います。



平成23年1月～6月の退職者 (退職月順)

◆中多 祐介	(耳鼻いんこう科専攻医)	H23.1
◆橋本 高芳	(内科医長)	H23.3
◆白畑 充章	(脳神経外科医長)	H23.3
◆近藤 祐一	(整形外科医員)	H23.3
◆三宅 良平	(形成外科医員)	H23.3
◆明石 奈津子	(麻酔科医員)	H23.3
◆小林 環	(脳神経外科専攻医)	H23.3
◆高橋 聡史	(皮膚科専攻医)	H23.3
◆雛 佳苗	(臨床研修医)	H23.3
◆宮本 茂樹	(内科嘱託医)	H23.3
◆武田 佳久	(外科部長)	H23.4
◆菅原 崇	(泌尿器科医長)	H23.6
◆寺田 行範	(脳神経外科専攻医)	H23.6

～在職中は、大変お世話になりました～

臨床研修医
濱井 優輔 (H23年卒)

- ◇趣味:バドミントン
- ◇最近嬉しかった事:この病院に来れたこと
- ◇座右の銘:感謝

多くの人にご指導頂き、とても素晴らしい環境で研修を始められたと思います。少しでも恩返しできるよう精進して参ります。



◎院内探検隊◎

—小児科—



みなさんこんにちは、
彦根市立病院小児科の神谷です。
今回は当病院の小児科のスタッフ
を紹介させていただきます。

：医師紹介：



次は私、**神谷**です。西島先生
と同じく、心臓病を専門にして
います。大阪出身で大学から滋
賀県に移り住み、人生の半分を
滋賀県で過ごしています。趣味
は息子と遊ぶことで、苦手なの
は不機嫌な時の嫁さんです。

次は血液腫瘍が専門の**神田**
先生です。こどもの成長を楽
しめるのが小児科のいいところ
という滋賀出身の先生です。趣
味は料理で、得意なことが食器
洗いという頼もしい兼業主夫で
す。高いところが苦手なよう
です。

最後は鳥根県出身の**安部**
先生です。自己分析は典型的
なO型人間ということです。料
理が得意ということで、その手
先の器用さは点滴などの処置
でも発揮されています。徹夜が
苦手らしいです。

以上5人のスタッフがドラ
マにあるような上下関係の厳
しきなどなく、それぞれが助
け合い、小児の地域医療に貢
献しようと力を合わせて頑張
っています。しかし、人口10万
人を超える彦根市の小児科
医療を担うには常勤医が5

人というのは決して多く
はなく、同じ人口数の近
隣地域と比べても、小児科
医の数は不足しています。
そのため、当院での小児救急
は常時小児科医対応ではな
く、内科の先生方の力をお借
りして運営しています。



今後、我々はよりよい医
療を未来あるこどもさんへ提
供できるように、できる限り
努めていきますので、市民の
皆様も彦根の小児科医療が
継続・発展できるようご理解、
ご協力をよろしく願いま
す。

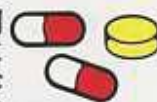
まずは部長の**石上先生**で
すが、喘息などのアレルギーが
専門です。自己分析が慎重との
とおり仕事に対して丁寧・慎重
で、ご家族への説明なども時間
をかけてわかりやすくされて
います。趣味は学生時代からの
テニスだそうです。アルコール
が苦手とのこと。

次は唯一の女医の**西島先生**
は、こどもの心臓病が専門で
す。自己分析はあっさりとのこ
とですが、どんなことでも嫌な
顔せずに手伝ってくれるありが
たい存在です。苦手なことは早
起きらしいです。



◎ 院内探検隊 ◎

— 循環器科 —



皆さんは循環器科とはどの臓器を専門に診察するか、よく知っておられるかと思います。そうです。心臓と血管を主に担当いたします。狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離（解離性大動脈瘤）、閉塞性動脈硬化症、高血圧など、皆さんに聞き馴染みのある病気が多いですね。

◆ 当院循環器科の特徴として ◆

◇ 一年365日24時間病院内に少なくとも1人の循環器科医が待機しています。この態勢をとっていますのは滋賀県内では唯一、当院だけのようです。

◇ 狭心症、心筋梗塞のカテーテル治療については、深夜受診の患者さんであっても、必要であれば緊急に1時間以内の準備で行える態勢をとっています。

◇ 心臓が一時的に機能を失った時も、人工心肺装置を常時準備し、装着技術に熟練しているため、最重症患者の救命率は世界水準です。



◇ 高性能64列心臓CTを備えているため、狭心症があるかどうかを外來検査として高精度で判断できます。

◇ 不整脈の治療として、高度な技術が必要なカテーテルアブレーション治療の専門家がいます。他府県からも大勢の患者さんが来院し、入院治療をうけられています。県内で同様の不整脈治療がうけられるのは3病院のみで、当院はその内の1つとして活躍しています。他府県からの患者さんからは彦根市立病院はとて素晴らしい評価をいただいています。いい病院だったと皆さん大変喜ばれて感謝いただき職員励みとなっています。

… 医師紹介 …

現在、彦根市立病院の循環器科は6人の循環器の専門医師が担当しています。



副院長の日村医師は学生時、野球一筋でしたが、今はゴルフのようです。

めざすはコンペでの初優勝と書いています。



部長の私は病院を花いっぱいにするため、先日は人生で初めて耕運機を運転しました。学生

時を思い出し、広い草原をまた馬で駆けることを夢見ています。



池田医師は京都大学での4年間の研究生活をはさんで2度目の勤務です。

マラソン出場にむけてトレーニング中です。



宮澤医師は学生時代、バドミントン選手として活躍し、ギターの名手との噂があります。



中尾医師は週末にはワイドサーフィンで湖上を駆けています。



榎本医師はジョギングで体を鍛え、なかなかのサッカー選手とのことです。

循環器科はチームとしてパラメディカルとの関係も良好で、とてもいい雰囲気の中で診療を行うことができます。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

ようこそ、栄養科へ

～管理栄養士の紹介～



私たち管理栄養士は…
外来患者さんの栄養指導や、
入院患者さんの栄養管理を
行っています。
よろしくお願いします。

～行事食・七夕～

月に1度、入院患者さんの食事に
季節を感じていただけるよう、行事食
を実施しています。7月7日には、
そうめんを提供しました。



鮭のムニエル
241 Kcal

七夕そうめん
305 Kcal

昼食の栄養量	
エネルギー	583Kcal
たんぱく質	27.4g
脂 質	18.7g
炭水化物	76.2g
食 塩	4.9g

当日は暑かったので、
冷たいそうめんや
スイカは、患者さんに
大好評でした。

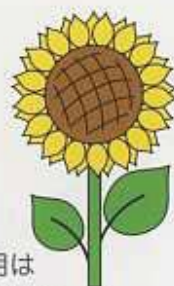


～緩和ケア・イベント～

栄養科では、緩和ケア病棟のイベント
に、デザートを提供しています。



今年の七夕は、夏の果物の代表であるスイカを
丸ごと使って作ったフルーツポンチや、手作りの
バニラアイスクリーム、ゼリーを提供しました。



8月は
夏祭りに、
たこ焼き、かき氷
を提供しました。

当日は、天気が
よく、患者さんや
家族の方に、大変
喜ばれました。

がん相談支援センターからのお知らせ



がん相談支援センターは彦根市立病院内にありますが、当院にかかっていない方のご相談にも応じます。がん治療においての疑問・不安を解決するお手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談ください。

電話や来室ではこんなご相談があります。

- 病名を聞いてまさかと思った。家族(または本人)の前で泣けない。
- 入院費用はどれくらいかかるのだろうか。
- セカンドオピニオンについて知りたい。
- 緩和ケア病棟への入院は最期になるようでいやだ。(と、本人が拒否している)
- 病名を聞いたが、いったいどのような病気なのか詳しく知りたい。
- 不安でたまらない。だれかに話を聞いてほしい。
- 患者会に行ってみたい。
- 抗がん剤(副作用)について知りたい。

相談
無料です



など。。

◆ご相談にいらした方への配慮◆

- ・ご本人の了解なしには、あなたのご相談内容が他の方に伝わることはありません。
- ・無理にお名前を尋ねることはありません。(相談内容によっては何うこともあります。)



＜彦根市立病院がん相談支援センター＞

時間:午前9時から午後4時まで
(土・日曜日・祝日及び年末年始を除く)

電話:0749-22-6050(代表)

Mail:gansoudan@municipal-hp.hikone.shiga.jp

直接お越しいただくか、お電話で予約をお取りください。

完全予約制ではありませんが、予約の方を優先させていただきます。

今年7月で新病院開院から9年となります。一昨年には画像配信をフィルムからWebへ変更し、さらに64列マルチCT装置への更新をおこない、心臓CT検査が可能となりました。今年度は血管連続撮影装置の更新を予定しています。今後地域の中核病院として、医療機器の技術革新に遅れを取らないよう、計画的な機器の更新が課題となっています。



放射線科スタッフ集合

スタッフは放射線科医師(常勤1名、非常勤若干名)、診療放射線技師15名、補助職員1名、事務員6名が勤務しています。医師不足は深刻で、多いときには4名の常勤医師でしたが、現在は1名でがんばっています。技師は男性10名、女性5名で業務を行っています。患者様に安心して検査・治療を受けていただけるように、スタッフ一同それぞれの分野においてレベルアップを目指しています。

放射線科には、1階に一般撮影4室、血管連続撮影2室、MR室、CT2室、乳腺・骨密度測定室、エコー室、TV3室、結石破砕室、診察室があります。また、地下にリニアック室、RI室、診察室があります。

放射線科長 岩崎清吾

さらさら コメディカル
—放射線科—
技術革新に遅れをとらないように！

～ご意見番より～

Q. 空気が少し乾燥している。施設としては充実している。良くもなく悪くもなくいたって普通だと思うので、これからどんどん良い方向にもっていけるよう、施設や対応のほどよろしくをお願いします。

A. 院内の湿度は、一部の場所を除いては、50%の設定となっております。定期的に湿度の測定を行っておりますが、常に50%前後の結果が出ており、適切に湿度管理はできているものと考えています。今後も良好な施設の状態を保つよう、適切な維持管理に努めて参ります。

Q. 看護師さんが交代されていきますが、中にははじめから終わりまでマスクをしたままの方が数名おられました。(これが当然とおもいますが)初対面の時、一瞬だけでもマスクをはずして挨拶していただくとより心が通じるのではないかと思います。衛生上当然と思いますが敢えて申し上げます。

A. マスクをしていることで、聞き取りにくいなどのご意見もあり、特にあいさつ等の時には、マスクをはずしていこうと決めました。



Q. 有料でインターネットが出来る場所が欲しい。30分100円位の料金でやればいいと思う。(以前祖母が入院していた病院では、インターネットルームというサービスがあった。)各階ごとに人の集まりやすい場所に小さな図書コーナーを作ってもらえるといいかもしれない。わざわざ病院側が本を用意するのではなく、入院していた方が退院する際に病室で読んでいた雑誌、漫画、文庫本などをそこに置いていけば、リサイクルにもなっていると思います。

A. 当院では、医療情報センター内に、「こころと体の図書室」がございます。そちらでは、無料でインターネットを利用することができます。また、健康に関する本を中心に多数の本がございますので、どうぞご利用下さい。なお、各階のデイホールに図書コーナーを設けることは、現在のところ検討しておりません。

誉. とてもいい、親切な態度でいてくださり、うれしかったです。兄の切った傷が、キレイに消毒されており、ありがとうございました。また、私も以前に、お世話になりました。先生たちのお気遣いや、細かく説明して下さる事、とても嬉しかったです。いつも先生たちには、すごく感謝しています。今後もよろしくおねがいします。

誉. 三度目の入院です。いつも先生を始め看護師の皆様の温かいお言葉を頂いたり感謝致しております。給食もおいしく頂いております。トイレがとても気持ち良く出来ております。外の病院にも数回入院致しましたが、ここが一番気持ち良く、うれしいです。看護師さんの気持ち良い対応に心より感謝致しております。

医療社会部だより

医療社会部開設



【日村 好宏 副院長】

平成23年4月から、地域連携室と医療相談室が1つになり、医療社会部へ生まれ変わりました。病院の中の小さな一角ですが、地域と病院を結ぶ大きな架け橋となることを目指し、スタッフ一同、明るさいっぱい笑顔いっぱい頑張っています。

医療相談室とは：

病気になると、病気そのものの不安の他に、生活面で様々な問題が生じることがあります。医療相談室では、専門の相談員が患者さんの悩みや不安を伺い、社会福祉・社会保障制度の紹介などを行いながら、解決に向けて患者さん・ご家族と一緒に考えていただいています。

福祉制度

- （車椅子・ベッド・各施設入所への手続き・介護保険など）の利用について
- 診療に対する悩み・疑問について
- 退院後の生活や社会復帰の問題について
- 医療費や生活費などの経済的な問題について
- 在宅での療養のご相談について

彦根市立病院2階の医療相談室にて、ご相談を承っています。ご不安なことがありましたら、お気軽にご相談下さい。

【医療相談室】



患者さんのご相談をお受けしています。

医療社会部



かかりつけ地域の医療機関と協力・連携します

【地域連携室】

地域連携室とは：

皆さんは、「病診連携」という言葉を耳にされたことはありますか。自宅近くでいつも相談に乗って下さるかかりつけの先生の診療所と病院を結ぶ機能を、こう呼びます。

昨今は医療機関の機能分化が進み、病院では大きな機材を使った検査や緊急性の高い医療を担い、病状の安定した患者さんに対しては、かかりつけの先生によるより身近で細やかな医療の提供がなされています。こういった状況の中で、患者さんに一貫した質の高い医療を受けていただくために、医療機関同士の連携が非常に重要となっています。

地域連携室とは、患者さんと病院・診療所を結ぶ架け橋として、この「病診連携」を担う機関です。

例えば、専門外来や最新機器による検査が必要な場合、かかりつけの先生から地域連携室を通して、診療や検査の予約を取ることが出来ます。こうすることで、患者さんには短い待ち時間で診療を受けていただくことができ、専門医は事前に患者さんの診療情報を受けて診療を行うことができます。検査結果は専門医が診断し、迅速にご紹介いただいた先生へお返しします。

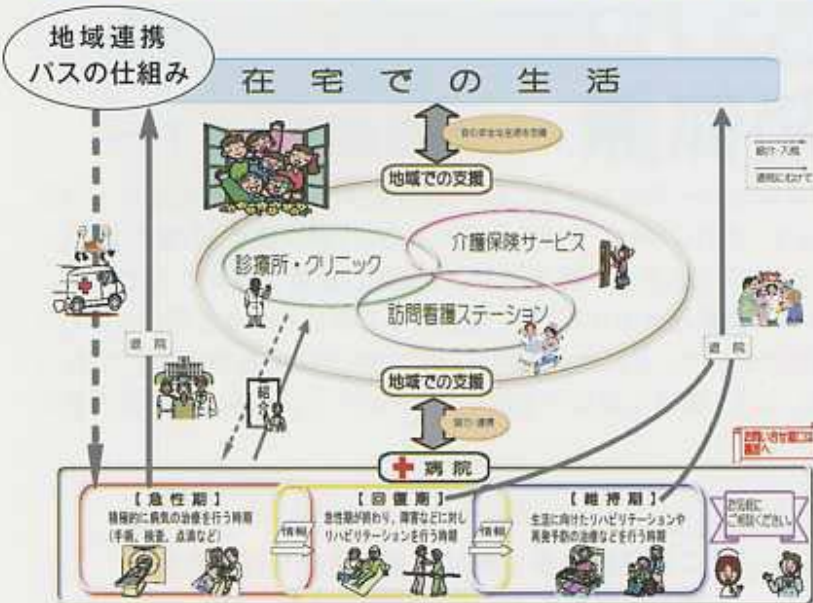
また、入院加療が必要な際には、開放病床の利用も可能です。これは、入院診療に、病院の医師だけでなくかかりつけの先生にも同時に参加していただけるシステムです。入院中の治療方針はかかりつけの先生と病院医師の協議によって決定されます。もちろん退院後は引き続きかかりつけの先生に診ていただくことができますので、終始貫した医療を受けることが可能です。

このような病診の連携機能をスムーズに行い、患者さんのためになる医療の実現を目標に頑張っています。

安心できる療養の場を目指して

彦根市立病院は「急性期」の病院として、地域の中で位置づけられています。本来は、急性期の疾患が治癒された方に対しては、各種福祉制度を用いて在宅支援を行っています。

しかし、疾患によっては、早期に積極的なリハビリテーションを行うことで、回復の効果が見込める場合もあります。そういった方に対しては、状態の落ち着いた段階で、積極的にリハビリテーションを行う「回復期」の病院への転院をお勧めさせていただいています。また、リハビリテーションを行っても、すぐの在宅復帰が困難な方へは、さらに「維持期」の病院へとご紹介させていただきます。



※ どの時期においてもみなさまの状況に合わせて、在宅生活に合わせた支援を行っています。

湖東地域では、各病院が連絡を密に取り合い、患者さんに安心して療養を続けていただけるよう、体制を整えています。そのために、地域連携バスと呼ばれるネットワークを構築しています。

現在、主に運用されているのは脳血管疾患・大腿骨頸部骨折などの患者さんで、全体の半数程度の患者さんに、この制度をご利用いただいています。住み慣れた地域で適切な医療を受けていただけるよう、今後は、他の疾患についても、ネットワークの輪を広げていく予定です。



メンバー紹介

これであなたも10歳若返る!?

転倒予防体操 ～健康体操その1～

私たちが住んでいる日本は高齢化の一途をたどっており、現在約4人に1人は65歳以上の高齢者といった社会になっています。それに伴い、介護を必要とする方(要介護者)も増えており、出来る限り要介護者になることを防ごうとする介護予防という概念が重要視されています。介護が必要となるに至るには様々な要因がありますが、転倒による骨折も大きな原因として挙げられます。そこで今回転倒予防ということに焦点を絞り、何回かに分け、転倒予防に役立つ運動を紹介していききたいと思います。簡単な運動ですので、毎日コツコツと続けて転倒予防に努めましょう。

<かかと上げ運動>



この運動は歩く際に必要な**地面をける力**を鍛える運動です。この運動によりふくらはぎの筋力を高めます。

運動手順

1. まず椅子に腰かけて、片方の膝の上に両手を重ねて置きます。
2. 次に息を大きく吸って、吐きながら両手で膝を下に押し、同時にかかとを上げて5秒間ほど保ってください。その後、逆の脚も同様に行います。

<脚上げ運動>



この運動は歩く際に必要な**脚を上げる力**を鍛える運動です。この運動により股関節を曲げる筋力を高めます。

運動手順

1. まず椅子に腰かけて、片方の脚を上げます(膝を天井に向けて上げるイメージで)。このとき、足の裏は床と平行に保ちながら上げるようにして下さい。
2. 次に上げた脚の膝上に両手を重ねて置いて、下に押すと同時に脚が落ちないように5秒間ほど保ちましょう。その後、逆の脚も同様に行います。

※空いている時間を見つけ、各運動を1日5～10セットずつ行ってください。
簡単な運動ですので、毎日コツコツと続けて転倒予防に努めましょう。

緩和ケアかわら版

病棟でのレクリエーション

緩和ケア病棟では、患者さんに季節感を味わっていただくために、毎月レクリエーションを行っています。今年の4月は春の演芸会と称し、みんなで楽しめる催しを企画しました。

まず、午前中は患者さんと一緒に桜もちを作りました。高校生のボランティアも加わり、スタッフの慣れない「おはぎづくり」に対して、人生の先輩である患者さんから色々なアドバイスをもらいながら、短時間で120個のおはぎを作ることができました。同じ作業をすることで一体感も生まれ、「昔はこうやってよく作ったわね。食べるのが待ち遠しいね」と、病院にいたことをつい忘れてしまいそうなひと時となりました。

また、午後からは演芸会が催され、以前職員であった中島房女さんによる安来節（やすぎぶし）と南京玉簾（なんきんたますだれ）が披露されました。中島さんは「すだれでつくる形は回想効果がありま



中島さんの安来節とともに踊る「どじょうすくい」は、ユーモアたっぷりの踊りであり、それを見ていた患者さんが、あまりの楽しさに思わず自分も踊り出し、一転して喜劇となり、その場は大爆笑となりました。最後にみんなで作った桜もちとお抹茶で春を味わい、レクリエーションを終えました。



これからも患者さんやご家族が少しでも季節を感じ、今を楽しみながらよりよい時間が過ごせるようスタッフ一同頑張っていきたいと思います。

未来看護塾

「未来看護塾」とは…

滋賀県立大学看護学部有志学生を主体としたボランティアグループです。病院の協力のもと小児病棟や、緩和ケア病棟を中心に活動しています。まだまだ未熟ですが、未来の看護を担う看護学生が行います「未来看護塾」の活動に対して今後とも温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

ある1日…



今日は私達が担当します。

今日は、小児科病棟での活動の1部を…
ご紹介したいと思います。



今日はお願します

よろしくお願します

こちらこそお願します



楽しい時間を過ごせました

記念撮影でみんなニッコリ

ありがとうございました



夢中で遊んでいます

楽しめてよかったネ

どうするの？おネエちゃん

始めは、お互い緊張してましたが…
時間が過ぎていくと…

診療予定表 (平成23年9月1日現在)

	診療科	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1フロア(一部)	内科	1診(総合診)	三浦	高山	清水	宮本	清水(第1・3週) 横野(第2週) 消化器Dr(第4週) 月野(第5週)				
		2診(消化器)	永岡	横野	浅野	永岡					
		3診(消化器)予約制	永岡			横野					
		4診(消化器)予約制 午後再診	吉川	吉川	浅野	浅野	横野	横野	藤本	藤本	永岡
		5診(血液)予約制 午後再診	牧野		吉川		牧野		吉川	木藤	
		6診(糖尿病/内分泌) 午後再診予約のみ	矢野			矢野	矢野	黒江	黒江	黒江	
		7診(糖尿病/内分泌) 再診予約制		黒江	原田(第1週)・栗澤(第2・3週) 田原(第4週)・近藤(第5週午前) 原田(第5週午後)	黒江	黒江	原田	原田	矢野	矢野
2フロア(一部)	循環器科	1診(午後予約のみ)	綿貫	綿貫	根本(第1・3・5週) 中尾(第2・4週)	池田		日村(第1・3・5週) 宮澤(第2・4週)		日村	根本
		2診(予約制)	日村		日村					池田	綿貫
		3診(予約制)	宮澤		PM外来(第1・3週) 綿貫(第2・4週)	根本		中尾			
3フロア(一部)	脳神経外科	1診	金子(予約のみ)	取越		横山		丸茂		金子(予約のみ)	
		2診	横山	金子		丸茂		取越		横山	
	神経内科	1診(午後・再診予約制)	小林/宇佐美	近藤/服部		上村	上村	宇佐美/小林		江川	江川
		2診(再診予約制)						小森(第2週)			
4フロア(一部)	整形外科	1診初診	堀	福田		仙石		渡邊		光石	
		2診(再診)予約のみ	福田	仙石							
		3診(再診)予約のみ								渡邊(4診)	
		4診(再診)予約のみ									
5フロア(一部)	形成外科	1診	井口	井口		伊藤		井口		伊藤	
		2診	伊藤			木村		木村		木村	
		予約再診		伊藤/井口/ 木村			伊藤/井口/木村 断髪外来				
	皮膚科	1診	山本	本田	高山	山本	本田	本田		高山	山本(第1・3・4週) 高山(第2・3・5週) 本田(第1・2・4・5週)
6フロア(一部)		2診	高山	山本	山本	高山	高山	山本		本田	
		3診								林	
	呼吸器科	1診	林(第2・4週)	内田		林				重森	
		2診	月野	禁煙外来 (9:30~11:00) 完全予約制		渡邊		月野		渡邊	
7フロア(一部)	心療内科	1診(完全予約制)		西山(初診)	西山(15時まで)						
	緩和ケア科	予約制		黒丸							黒丸
	外科	1診(初診)	赤松	寺村		橋田		李		安田	
		2診(再診)	李	安田		稲本		寺村		赤松	
8フロア(一部)		3診(再診)		小松原				橋田			
		乳腺外来(予約制)			○						
	泌尿器科	1診	和田	和田		長谷		長谷		長谷	
		2診	長谷	成田		多和田		和田		和田	
9フロア(一部)	麻酔科 ハイグロウ	1診	高瀬			橋田/上村				橋田/藤井	
		2診	上村			高瀬				古野	
	眼科	1診	武輪(〜12日) 鈴木(26日〜)	武輪(〜12日) 鈴木(26日〜)	山田	武輪(〜14日) 鈴木(21日〜)	武輪(〜14日) 鈴木(21日〜)	武輪(〜15日) 鈴木(22日〜)	武輪(〜15日) 鈴木(22日〜)	武輪(〜16日) 鈴木(30日)	鈴木(30日)
		2診	鈴木(〜12日) 鈴木(〜12日)			鈴木(〜14日) 鈴木(〜14日)	鈴木(〜14日) 鈴木(〜14日)	鈴木(〜15日) 鈴木(〜15日)	鈴木(〜15日) 鈴木(〜15日)	鈴木(〜16日) 鈴木(〜16日)	
10フロア(一部)	歯科 口腔外科	1診(予約紹介外来)	品川/山田	山田		河岡		東郷		河岡/山田	
		2診(紹介外来)	河岡	品川		品川		河岡/品川		品川	
		3診(予約のみ)	山田	河岡		山田		東郷		磯部	
		口腔衛生指導		○(予約のみ)		○(第1・3週)			○(最終週休診)		○(最終週休診)
11フロア(一部)		専門外来(完全予約制)		○(予約のみ) 断髪・口腔腫瘍 外来 藤村		○(第1・3週) 断髪・口腔腫瘍 外来 山田(隔週)		断髪・口腔腫瘍 外来(隔週)		口腔内関連症状 外来	
		外来手術1診(予約のみ)		○(隔週)		○(隔週)				○	
		外来手術2診(予約のみ)		○		○(第2・4週)		○		○	
	耳鼻いんこう科	1診	片岡	片岡		片岡		片岡		片岡	
12フロア(一部)	小児科	1診(午後予約外来)	石上	西島	石上	凡4診〜外来 石上(第1・3週) 神谷(第2・4週) 栗原(第2・4週)	神谷	内分派外来 畑(第2・4週)	西島	石上	心臓外来 神谷(第1・3・5週) 西島(第2・4週)
		2診(午後予約外来)	西島	安部	安部	神田	神田	神田	神田	石上	凡4診〜外来 石上(第1・3週)
		3診	安部								
	健診センター								予約接種 西島		予約接種 石上(第2・4週)
13フロア(一部)	産婦人科	2診			高田		高田			三木(第1・2・4週) 湯久(第3・5週)	
		3診	阿知波		阿知波		阿知波		阿知波		
	放射線科	画像診断外来	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原
	放射線治療				嘱託医					嘱託医	

※診療受付時間は、初診・再診 午前8時から午前11時まで(予約の方は除く)
※産科口腔外科の再診は、予約制とさせていただきます。

※神経内科・整形外科・歯科口腔外科の初診は、紹介状をお持ちの方のみとさせていただきます。

院内季節の花だより



彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882
TEL:0749-22-6050 FAX:0749-26-0754

外来受付時間:

午前8時から午前11時(予約診は午後4時まで)
休診日:土曜日、日曜日、祝日および年末年始